

第3学年美術科「アニメーション」(鑑賞)

1. 分野 B鑑賞

2. 題材名 アニメーション

3. 題材目標

- ・ アニメーションの表現の美しさや制作者の意図や表現の工夫を感じとり、批評し合うことでものの見方や感じ方を深める。

4. 基盤

○今回は生徒にも馴染みの深い、宮崎駿アニメを主たる鑑賞教材として取り上げる。アニメーションやその背景画は自然を模倣・簡略化あるいはデフォルメしたものであるが、自然そのものや写真・実写映像を見るよりも、我々に自然の美しさをより強く訴えかけてくる場合がある。よってアニメーションを見ることにより、自然の美しさへの感受性を高めることができると考えられる。

今回特に水の表現に着目する理由は、生徒にとって海が身近にあることによる。生徒たちは入学以来、毎年春に地元の漁港でスケッチ大会を行っており、海を見つめ、描いた経験を持っている。複雑な見え方のする水を描くのは困難で、青や緑で塗りつぶしてしまう者も多い。そのような経験と今回の授業内容を有機的に結びつけることで、新たな視点を手に入れたり、より充実した鑑賞ができることが期待できる。

また、宮崎アニメは光と影の表現が卓越しており、印象派絵画にも通ずるものがある。絵画鑑賞の足がかりにもしたい。

○このクラスは男子15名、女子13名の計28名である。1学期の自画像制作と鑑賞、日々の自主学習スケッチノートへの取り組みから、生徒の感受性や表現意欲に個人差の大きいことがうかがえた。意欲の高くない生徒が興味を持って取り組めるよう助言をしたり、生徒同士で意見や感想を交換する場面を設けている。1学期の鑑賞レポートを読み返してみると、細かな部分に気づいたり、作者の気持ちや意図を想像することができる生徒もかなりいる。そういった生徒の中には、自ら積極的に発言をすることを苦手とする者もあるので、いったん書かせてから指名するなど、発言を取り上げる工夫をする。また、漫画やイラストを愛好する生徒が多く、体育祭のデコレーション等を見ても、それらに対する理解・興味・表現意欲が高い。そこでアニメーションを美術世界への入口として、美術に対する感性や興味・関心を引き出していきたい。

○現行学習指導要領によれば、美術の授業における鑑賞活動は、表現活動の参考としての補完的な扱いではなく、それ自体が独立した大切な美術活動と位置づけられている。しかしながら、表現活動と鑑賞活動は分ちがたく結びついており、相互作用しながら深まるものである。例えば、スケッチや模写等を行うことで、初めて気づく自然や作品の美しさがあり、また絵画等を鑑賞することで表現意欲が湧き起こることもある。また、鑑賞活動そのものが表現活動の要素を内包している場合もある。「鑑賞」の授業ではあるが、そのような視点を持って活動を組み立てたい。

本時はアニメーションについて「水の表現」をとりあげて鑑賞させる。その際宮崎アニメとディズニー作品を比較したり、実写映像を見せる等して、表現の美しさと多様性に気づくことができるように配慮する。その際、「うまいかうまくないか(実写に近いかどうか)」が一番大事な価値観ではないこと、見方が人と一致する必要がないことに留意させる。また、生徒同士で感想や分かったことを話し合うことを活動の中心に据え、自分の持っていなかった見方であらためて鑑賞するなどして、制作者の意図や表現の工夫に気づき、「感じ取る力を育てる鑑賞」にしたい。まとめでは生徒の今後の生活の中で、自然や美術作品に対する感受性が高まっていくような工夫をする。

5. 題材の評価規準

美術への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
ア. 生徒作品やアニメーション、印象派の絵画に興味を持って鑑賞し、その良さや美しさを感じ取り、味わい、その後の生活で積極的に鑑賞活動をしていこうとする。	イ. 感性や想像力を働かせて、自分の価値意識を大切にしながら生徒作品やアニメーション、印象派の絵画の良さや美しさ、さらにそこに表された自然の美しさを感じ取り味わったり、批評し合ったりする。 ウ. 作者の心情や意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り理解し、見方を深める。

6. 本時の学習

(1) 準備物

プロジェクター、DVD、DVD プレーヤー、ビデオテープ、ビデオデッキ、実物投影機
[鑑賞ワークシート](#)

(2) 本時の展開

学習活動	教師の支援と評価
<ul style="list-style-type: none"> 生徒同士、スケッチ大会の作品を海の表現に着目して鑑賞し合い、感想を話し合う。 スケッチ大会当日の写真を見て、感想を話し合う。 「水の表現」について宮崎アニメの一部とディズニーアニメ、また参考として実写映像を見る。 感想や気づいたことをメモした後、その内容を話し合う。(鑑賞ワークシート) 印象派の絵画や身近な風景の写真を見て、教師の話聞く。 本時の感想と自己評価を書く 	<ul style="list-style-type: none"> 本日の学習内容を明示し、目標を持たせる。 出て来た感想を取り上げ、全体に問いかける等して、新たな視点を持たせる。 着眼点のヒントを与える。 出て来た感想を取り上げ、全体に問いかける等して、新たな視点を持たせる。 (関ア) (鑑ア・イ) アニメーションを見せる前に、著作権についての話をする。 一度見て、自分の感想を書いた後、近くの者と話し合い、批評を交換する。その後もう一度見せる。 出て来た感想を取り上げ、全体に問いかける等して、新たな視点を持たせる。 (関ア) (鑑ア・イ) 流れによってもう一度作品を見せたりする 今後見る自然や美術作品に対して感受性が高まるようにする。 (関ア) (鑑ア・イ)

(3) 研究の視点

- アニメーションの表現の美しさや制作者の意図や表現の工夫を感じとり、批評し合うことでものの見方や感じ方を深めることができたか。